

中学生のみなさんへ

夏休みにおすすめの本

2018 鎌倉市図書館



Y210.35

『平城京のごみ図鑑』

奈良文化財研究所／監修
河出書房新社 2016

平城京の発掘調査で一番参考になるのは…まさかのごみです。木簡から切り取った木屑、はきつぶした下駄、調理の際にでた魚の骨、それらから1300年前の人々のくらしが見えてきます。



Y913.6 ナ

『ひかり舞う』

中川なをみ／著
スカイエマ／絵
ポプラ社 2017

明智光秀の家臣だった父は討ち死に、幼い妹は亡くなり、戦場で首洗いをする母とも別れ、7歳にしてひとり立ちの道をえらんだ平四郎。「縫い物師」として生きた平史郎は、彼の人生に影響を与えた少女「おたあ」とともに激動の時代を生き抜く。



Y487.5

『サメってさいこう!』

オーウェン・デイビー／作
越智典子／訳、他
偕成社 2017

サメ！どんなものを思い浮かべますか？サメには、500以上の種がいます。「これもサメ？」って思うようなへんてこな姿や変わった生態のサメがいっぱい。どれもみんなユニークです。読んだらきっと「サメってさいこう！」って思ってしまうはずです。



Y913.6 マ

『付喪神』

町田康／文
石黒亜矢子／絵
講談社 2015

百年を経過した物には意識が生じる。それを嫌がった人間に捨てられてしまった茶碗、傘、招き猫…様々な「物」たちは、みんなで相談して、人間へ復讐することに。節分の夜、鬼に変化した物たちの繰り広げる妖怪大合戦！



Y748

『スティーヴ・マッカーリーの読む時間』

スティーヴ・マッカーリー／著 渡辺滋人／訳 創元社 2017

いろいろな場所のいろいろな人の「読む時間」。ほとんど説明のない写真に吸い込まれそうになります。写真を撮るのが好きな人にもおすすめ。この人は何を读んでいるのかな？一緒にいるのは誰だろう？



Y914.6 ヤ

『国境のない生き方～私をつくった本と旅』
ヤマザキマリ／著
小学館 2015

ヤマザキマリがお風呂まんが『テルマエ・ロマエ』を生み出した秘密がわかる。…だけじゃない！宇宙から見れば悩みなんてハナクソ。気持ちがあぐんと楽になる。苦勞の連続だった彼女なのに「生きるのは喜びだ！」と、語ります。なぜ？

Y145.5

『101のビジュアル・イリュージョン』 サム・タブリン／文、他 東京書籍 2017
ミラクルな錯覚を呼ぶ101個のだまし絵。あなたはだまされたい？だまされたくない？何にも考えたくない時、逆に錯覚をとことん追及したいときにもぴったり。時間を忘れてみませんか？

Y451.5

『スーパーセル』 マイク・ホリングスヘッド、エリック・グエン／著、他 国書刊行会 2015
竜巻とその上昇気流のもとになる巨大積乱雲（スーパーセル）。強雨やひょうなどの過酷な気象条件の中、竜巻追跡を続けるストームチェイサーたちの意気込みと使命感に心をつかまれます。

Y507

『奇想天外発明百科』 マウゴジャタ・ミCHEルスカ／文、他 徳間書店 2016
大昔から人間は発明が大好き、その驚きのひらめきとは？「古代の神殿の自動ドア」「集中力アップヘルメット」など、どうしてそんな変なものを発明したのか、楽しいイラストで紹介します。

Y726.6

『絵本むかし話ですよ』 五味太郎／著 方丈社 2017
みんなも知っている昔話。ちょっと目線を変えてみると…あら不思議！あらたな世界（ちょっとブラック？）が広がっています。

Y748

『My Room 天井から覗く世界のリアル』 John Thackwray／著、他 ライツ社 2018
地球をまるごと感じられる写真集です。現実を必死に飲み込もうとしている彼らの優しい目に心がぐしゃっとなります。

Y756

『子どものためのニッポン手仕事図鑑』 大牧圭吾／監修 オークラ出版 2017
日本の手仕事（食品サンプル職人・ガラス職人・足袋職人など）職人さんをカラーで紹介。工作で職人さんを体験してみよう、というページもありワクワクできる本です。

Y913.6
カ

『太陽ときみの声』 川端裕人／作 朝日学生新聞社 2017
サッカー部でもクラスでも中心人物の一輝だが、左目の視力が極端に落ちていく。ロービジョン、視覚障がいだとわかった時、一輝はあたらしい世界に飛び込む。

Y913.6
ス

『雲は湧き、光あふれて』 須賀しのぶ／著 集英社 2015
高校野球の物語といたら、ピッチャー、もしくは四番が主人公。でも、この本は違います。だれ一人欠けても成り立たない「野球」の物語です。

Y913.6
タ

『4ミリ同盟』 高樓方子／著、他 福音館書店 2018
何かを得れば、何かを失う。どこか風変わりな中年と老年の男女4人による、ちょっと奇妙なお話。あなたはもう、あの“実”を食べましたか？

Y913.6
ハ

『アリクイのいんぼう』 鳩見すた／著 KADOKAWA 2017
アリクイの陰謀？いいえ、ここはモフモフな店主アリクイさんが営む印房。人生の節目にそっと寄りそう、ハンコと名前のお話です。

Y933.7
ハ

『キツネのボックス』 サラ・ペニーパッカー／作、他 評論社 2018
戦争前夜、ピーターはそれまで一緒に暮らしていたキツネのボックスと別れることに。もう一度会いたいと願うピーターとボックス、その強い思いは周りの大人をも変えていきます。

2018年9月1日（土）から11月30日（金）まで、
中央図書館・腰越図書館は午後6時まで開館します！（平日木・金は7時まで、月曜日は休館）

【夏休み期間の休館日】7月30日（月）、8月27日（月）